令和2年5月19日　発行

中村設計新聞

第八十二号

五月十六日(土)雨

五月は在宅研修（リモート研修）を行いました。
初の試みで行った研修ですが、不慣れながらも所員みんなで新しいことに積極的に取り組んでみました。

○はじめに

新型コロナウィルスが猛威をふるっている中、みなさまも不要不急の外出を避け、手洗い・うがい・マスクなどの感染対策をされていると思います。

当社においても出勤交通手段変更や出勤時間変更、所員へのマスク及びうがい薬の支給を行っています。

また、事務所内でのソーシャルディスタンスの確保や一部在宅勤務の対策をとってきました。

↑テレワーク

↑うがい

↑手洗い

↑今までの土曜研修会の雰囲気

○私たちのしごと

設計事務所の業務は、建築主との協議打ち合わせをはじめとし、現地調査、確認申請等許認可、工事監理、在宅勤務だけを行うには困難であると考えています。

また、設計業務を一人で行うには限界があり、複数人で共同作業を繰り返し行います。

万が一、在宅勤務にて設計業務を行おうとすると、顧客情報を社外に持ち出すこととなる為、守秘義務の観点からも全面的な実施が現段階では困難です。

↑建築主との打合わせ

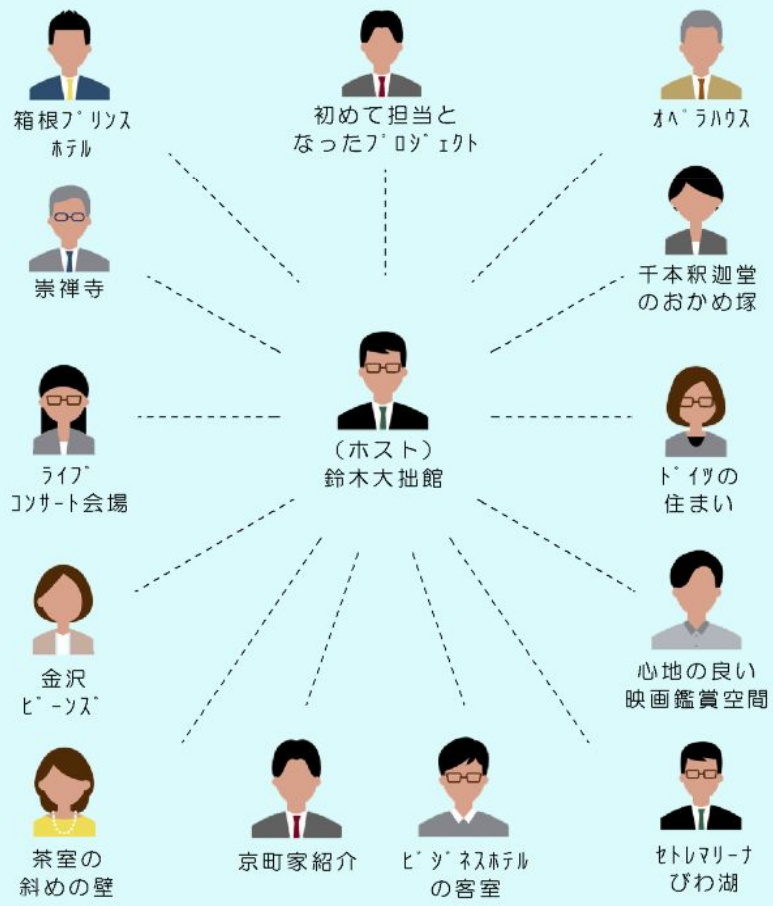
↑設計レビュー

↑工事監理

○今までの土曜研修会

当社では第三土曜日に、日常業務から離れ、所員間でレクリエーションや体験、見学等を行ってきました。

今回の土曜研修では、ZOOMというツールを使い、リモート研修にて、日常業務で活かせる可能性を模索しつつ体験を行いました。



○内容（リモート研修）

「印象に残る建築や空間」を主題に各所員が限られた時間で発表し、全所員間の質疑応答等、ディスカッション行いました。

ある所員は実体験として海外勤務での生活や文化等の発表。　また他の所員は好きな建築家や建築物など、印象に残っているプロジェクトのことなど、多種多様の発表がありました。

日ごろのコミュニケーションとは違った一面を知れ、所員間の親睦を深められました。

○研修を終えて

前準備や綿密なスケジュールを作成し実施した結果、特に大きなトラブルもなく行えたと思います。

多少の違和感はありましたが、意思疎通も出来ることが確認出来ました。

今回の研修では、今後、会議や研修、ミーティングなどは距離に関係なく行うことは可能であるが、特に、設計業務の可能性に関しては継続して進めていく必要があると思います。

また、映像や音声機器などの整備についても同様に進める必要があると感じました。

準備が重要！！

段取りが大切！

↑映像の整備

↑リモート研修状況

↑音声機器の整備

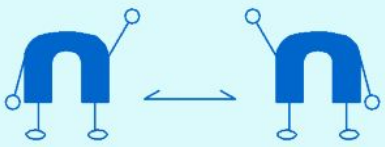
○最後に

新型コロナウィルス対策を通じて、いろいろと考え直す良い機会になったと思います。

終息した時点では、我々のしごとも、新たな一歩を踏みせること期待しています。

一日でも早い安心な生活が取り戻せますよう願っております。

↑ソーシャルディスタンスを徹底する！



今後のあり方を検討するのが大切だね！

早くコロナが終息してほしいね！！